

日本近代・現代文学の研究

研究分野: 日本近代、現代文学、日本文化

キーワード: 遠藤周作、芥川龍之介、長崎の文学

貢献できるSDGsの区分:



国際社会学部 国際社会学科 教授 下野 孝文

教員情報URL <https://sun.ac.jp/researchinfo/t-shimono/>

研究概要

- ①遠藤周作については、長崎を舞台とした作品を中心に、作品を構成している歴史、また資料との関係を中心に研究を進め、その成果を発表している。また遠藤が〈母なるもの〉と表現する日本人の心性、つながる宗教性等を日本文化の基層として捉え、広い視野に立った研究に取り組んでいる。
- ②芥川龍之介については、多様な文学世界のなかでも切支丹物と称せられるその信仰を題材とした系列がある。それは習作期からあり、晩年まで書き継がれたものである。その時々意識の反映、また変化の様子を作品、書簡、関連資料等から網羅的に検討している。
- ③長崎の文学については、その歴史のなかで、どのような特徴を持った文学が創造され、また認められてきたのか、異国情緒、基督教等を背景とした作品を主に研究を続けている。

産学連携の可能性(アピールポイント)

- ①図書館、文学館等での研究成果発表、講演。
- ②生涯教育、社会教育機関等での研究成果発表、講演。

外部との連携実績等

なし